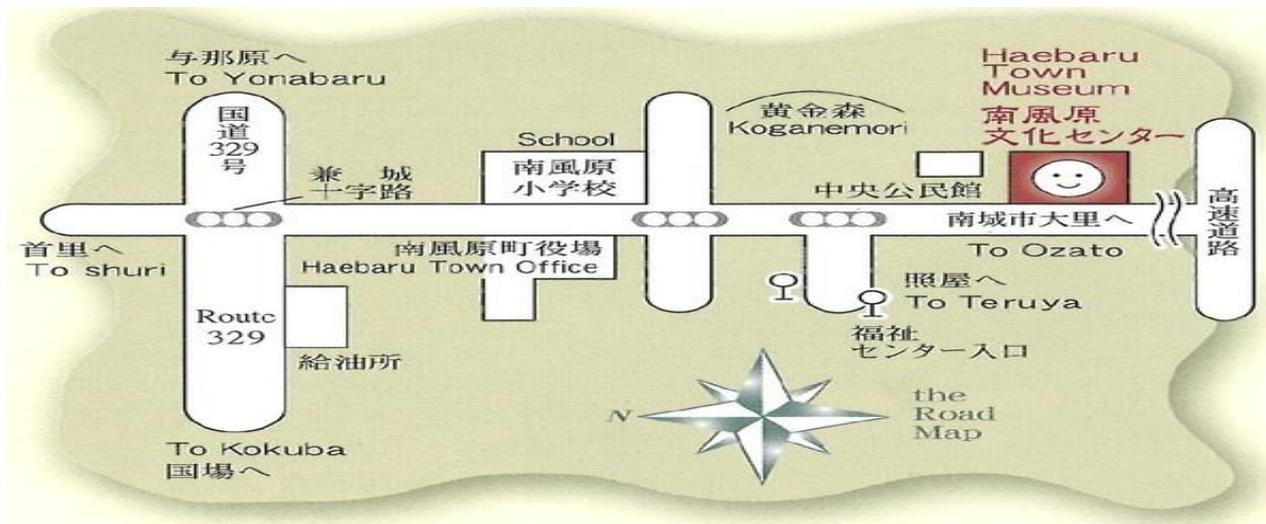


7月24日(日曜)午前10時～12時の間 遺骨土砂問題・遺族公聴会

遺骨土砂を埋め立てに使うことについて、ご遺族の意見を聞かせてください。8月5日国に声を届けにいきます。

ご遺族の声を聞かずに遺骨土砂を埋め立てに使うのは間違っています。

場所 南風原文化センター 1階ホール



- 今、防衛省が県の遺骨土砂（南部土砂）を埋め立てに使おうとしています。沖縄戦では皆様もご存じの通り20万人以上の方が亡くなりました。南部では死体が折り重なり、砲弾で骨は砕け散り、戦没者の血も肉もその土砂に混じっています。まさに南部土砂は遺骨土砂と言えます。
- 国は、慰霊の日である6月23日までに遺骨土砂（南部土砂）を掘ることを認めるよう県に迫ってきました。県は国や業者と話し合いを行っていますが、ご遺族の意見を聞いてはいません。ご遺族にはこの遺骨土砂の扱いについて発言する権利があります。
- 私、具志堅隆松(ぐしけん・たかまつ)は、ご遺族の皆様の声を聞いて、8月5日に国に届けようと思っています。7月24日、1回目の遺族公聴会を行います。ご家族連れでお越しください。またご高齢で参加が難しいときはご家族がぜひとも代わりにご意見を聞いたうえで、ご参加ください。ご遺族の賛否を会場アンケートなどで当日お伺いします。参加時間は短くてもけっこうです。開催時間内にお越しください。
- 当日は遺骨のDNA鑑定の報告・新規のDNA鑑定の申請受付なども行います。

沖縄戦遺骨収集ボランティア・ガマフヤー

代表 具志堅 隆松 090-3796-3132